

令和元年 11 月 7 日

芦屋市議会議長
中島 健一 様

視察代表者 長谷 基弘

行政視察について（報告）

標記のことについて、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 視 察 者 長谷 基弘、たかおか 知子、中村 亮介、
山口 みさえ の計 4 人
- 2 視察日時 令和元年 11 月 5 日（火）～11 月 6 日（水）[2 日間]
- 3 視 察 先 ①静岡県湖西市（11 月 5 日）
②静岡県浜松市（11 月 6 日）
- 4 視察項目 ①湖西市
定住促進事業について
②浜松市
ユニバーサルデザイン条例と計画について
- 5 報告事項 別添のとおり

以 上

令和元年度 行政視察報告書

| | |
|----------------------|---|
| 視 察 日 時 | 令和元年 11 月 5 日（火曜日） 13 時 24 分 ～ 15 時 12 分 |
| 視 察 先 | 静岡県湖西市議会 |
| 視 察 内 容 | 若い世代（ファミリー）の定住促進事業について |
| 視 察 目 的 （視察先選定理由） | 湖西市創生総合戦略は 2008 年に始まった人口減少傾向が今後加速度的に進むことが明らかになった。そこで国の総合戦略、静岡県の長期人口ビジョン及び総合戦略を踏まえ、湖西市人口将来予測から次世代を担う若者の確保策として提案された経緯があります。これらは芦屋市にとっても優先課題であるため視察先として選定しました。 |
| 調 査 概 要 | <p>湖西市では、「職住近接」、職場と住まいが近い暮らしをキーワードとして、湖西市への移住・定住を検討されている方には各種補助制度が存在しています。結婚を機に湖西市内に転入するご夫婦には、新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金。湖西市内に住宅を購入する方には、住もっか「こさい」定住促進奨励金。就業を機に首都圏から湖西市内に移住するとは、移住就業支援補助金などを制度として実現しています。</p> <p>■住もっか「こさい」定住促進奨励金について</p> <p>奨励金の対象者は、申請する住宅の所有権を有する方（共有名義の場合は、いずれか 1 人の方）単身の方は、申請書提出時点で 40 歳未満、夫婦の方は、夫婦の合計年齢が 80 歳未満の方と規定されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、申請する住宅に住民登録をしている方 2、外国人の方は永住者、及び特別永住者の方 3、申請する住宅に 10 年以上住む意思のある方 4、申請する住宅に居住する方の市税の未納が無い方 <p>その申請者が移住する場合は 50 万円。市内在勤者 50,000 円 市内事業者金融機関ローン利用者も（子供 1 人 10 万円、2 人 20 万円、3 人以上 50 万円）が加算されています。最高額 100 万円もしっかり、データに裏付けした数字の根拠をもっています。</p> <p>対象になる住宅とは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、湖西市内にある住宅（新築住宅・建売住宅・分譲マンション・中古住宅） 2、登記簿に「居宅」として保存登記してある住宅（「居宅」との併用住宅も可） 3、床面積が 50 m²以上の住宅（分譲マンションの場合は占有部分） 4、対価を支払って取得した住宅（相続等で取得した場合は対象外） 5、令和元年 10 月 1 日以降に、建築（工事請負契約）又は購入（売買契約）に関する初回契約を締結した住宅 6、湖西市勤労者住宅建設資金利子補給制度の交付対象となっていない住宅 <p>現在、近隣市の浜松市・豊橋市を制度は導入してません。</p> <p>■移住就業支援補助金について</p> <p>湖西市では、市内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消を目的として、東京圏から湖西市に移住して就業、又は起業した方に対し補助金を交付対象者は 1、2 のいずれかになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、湖西市に移住する直前に、東京 23 区に 5 年以上在住していた方。 2、湖西市に移住する直前に、東京圏に在住し、かつ、東京 23 区に通勤していた方。 |

| | |
|--|--|
| | <p>※東京圏とは・・・東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のうち一部の条件不利地域を除いた地域</p> <p>【補助金額】 単身の場合・・・60万円　世帯の場合・・・100万円</p> <p>【条件】 ■新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金 若い世代の湖西市への移住定住を促進し、職住近接（※）によるゆとりあるライフスタイルを提案するため、婚姻を機に湖西市へ転入する夫婦に対し、新生活応援金を交付します</p> <p>【応援金額】1夫婦10万円</p> |
|--|--|

| | |
|---------------------------------------|--|
| <p>所感 (意見・感想・今後の課題等)</p> | <p>湖西市のホームページですが、市の魅力発信と「浜名湖西岸のまち」の紹介 https://www.city.kosai.shizuoka.jp/kosai_saiko/index.html</p>  <p>市長が提案し率先して実施する過程を調査しました。 「こさい（湖西）知る・楽しむ・暮らす・育てる」定住者の声や制度の紹介。これらのコンテンツが充実しており、見やすく分かりやすい内容になっています。また、コンテンツは多言語で読めるシステムで定住支援情報サイトが日本人以外にも理解される細やかな姿勢が伺えました。工業が盛んなこの地域では外国人が多く住んでいます。</p> <p>住もっか「こさい」定住促進奨励金は2019年10月1日スタートした制度ですから1年の経過を見なければ結論は難しいでしょうが、問い合わせの件数も多く、期待される効果が得られると考えられます。最大100万円の奨励金のポスターは駅でも告知されていますし、強烈なインパクトがあるポスターでした。何よりこの企画を推進する担当職員の意気込みは絶賛できます。</p> <p>今回の視察研修においても明らかなことはどの制度でもしっかり充実させていて、例えば「こども医療費」の助成についても高校生まで対象であった。放課後児童クラブ、ファミリーサポート、子育て支援センターの機能も充実させている。つまり、住宅だけで移住者が増えるわけではありません。子育て・教育も充実しておかないと意味はありません。子育てと住宅、生活の利便性、若者たちの求める生活をどのようにまちづくりとコラボレーションするかなどは行政の手腕次第と考えられます。</p> <p>芦屋市においても、国際文化住宅都市としての大きなテーマはありますが、それが街づくりに関していうとそれぞれが点としての制度設計になっているのではないだろうか。芦屋市は住宅都市として成熟してきました。しかし、過去の遺産としてのそれにとられるあまり、先進的に挑戦することを忘れているのかも知れません。次世代が望む芦屋市の将来ビジョンを早く取り入れることから始まるべきだと考えられます。</p> <p>重要なこととして、先を見る先見性と絶え間なく継続させる努力が求められます。</p> |
|---------------------------------------|--|

令和元年度 行政視察報告書

| | | |
|----------------------|---|----------------------|
| 視 察 日 時 | 令和元年 11 月 6 日（水曜日） | 9 時 55 分 ～ 11 時 45 分 |
| 視 察 先 | 静岡県浜松市議会 | |
| 視 察 内 容 | ユニバーサルデザイン条例と計画について | |
| 視 察 目 的 (視察先選定理由) | <p>「ユニバーサルデザイン」とは、『すべての人のためのデザイン』という意味です。特定の人達のバリア（障害、障壁、不便など）を取り除く「バリアフリー」の考え方をさらに進め、能力や年齢、国籍、性別などの違いを超えて、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくりなどを行っていかこうとする考え方で。浜松市は先進的な取り組みを実践されているので選定しました。</p> | |
| 調 査 概 要 | <p>ユニバーサルデザイン条例は（以後 UD と呼ぶ）</p> <p>第 1 章 総則 第 2 章 ユニバーサルデザインの推進に関する施策等 第 3 章 ユニバーサルデザインに配慮した教育の推進 第 4 章 すべての人が暮らしやすい生活環境の整備 第 5 章 ユニバーサルデザイン審議会</p> <p>の 5 章から構成されていますが、推進から整備まで具体的な条例になっています。また、浜松市はユニバーサルデザインの多数の取り組みを行っています。</p> <p>その概略は</p> <p>■「ユニバーサルデザインって何」小学生～一般。市民団体や企業等の学習活動の出前講座があります。</p> <p>■路面誘導サインの特徴</p> <p>車いす使用者、子どもの目線でも見やすいように、歩道の路面に設置しています。浜松市の中心市街地に 37 のサインが設置してあり、公共・文化施設への道案内となっています。音符が矢印の役割を果たし、目標物の方向を示しています。（東西南北を示しているではありません。） 【市民公募のデザイン】⇒</p> <p>中心の緑色部分は、蓄光材が使われているため、周囲が暗くなっても光って見えるようになっています。サイン全体が滑りにくくなっています。音符が示す行き先は、日本語と英語の 2ヶ国語で表記されていて、外国の方にもわかるようになっています。</p> <p>サインに描かれている絵は、うなぎやミカン、松などの浜松を代表するものが描かれています。この路面誘導サインが市内で多く埋め込まれています。</p> <p>■UD 製品の貸し出し。高齢者や障がいのある人、子ども、右ききの人、左ききの人など、使う人のさまざまな違いに配慮して、より多くの方がより安心して使えるように工夫された製品を地域や学校でユニバーサルデザイン(UD)をより効果的に学んでもらうため、文房具や日用品など身の回りにある UD に配慮した製品を貸出ししています。</p> <p>■浜松市の小学生・中学生学校教育の取り組み</p> <p>小学生は 4 年生・中学生は 1 年生において UD の「はままつユニバーサルデザイン」を学ぶ事業を開催。企業 8 社の UD 出前講座など早くからこれらの学習プログラムが充</p> | |



| | |
|-------------------------------|---|
| | <p>実しています。</p> <p>■UD サポーター制度。浜松市では、誰もが安全・安心で快適に暮らすことができるようにユニバーサルデザイン(UD)のまちづくりを進め、「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の実現を目指しています。多くの人にUDを理解してもらうため、UDに関心を持ち、UDの考え方を広め、暮らしの中でUDを実践していただく仲間(UDサポーター)を募集し、UD応援団として市民全体でUDを推進しています。</p> <p>■市民のアイデアを公表している</p> <p>浜松市をユニバーサルデザインの心でつまれたすてきなまちにするいろいろな夢やアイデアを募集し、ホームページを公開されています。</p> <p>■20年前に当時の市長が提唱し、のちにこれが市民にUDの考え方が自然に定着したのだと説明がありました。</p> |
| <p>所 感 (意見・感想・今後の課題等)</p> | <p>ユニバーサルデザインの7原則(ノースカロライナ州立大学ロン・メイス教授提唱)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰にでも公平に使用できること(自動ドア、高さの調整できる座席) 2. 使う上で自由度が高いこと(左右どちらでも使えるはさみ) 3. 簡単で直感的にわかる使用方法となっていること(絵による説明、動く歩道) 4. 必要な情報がすぐ理解できること(駅の案内サイン) 5. うっかりエラーや危険につながらないデザイン、まちがっても大きな損害につながらないこと(ガス漏れ防止のコンロ) 6. 無理な姿勢や強い力がいらず、楽に使用できること(ドアのレバーハンドル、タッチセンサー) 7. 使いやすい寸法・空間になっていること(スペースの確保)(車椅子が近づけるローカウンター、広い改札口) <p>が浜松市の基本になっているのですが、段差解消や触知案内、ピクトグラムサイン・街中にある花壇は一段と高くして車椅子目線にあるのだというものなど、浜松市はそれを実践しています。驚くべきは「UD トークや多言語翻訳機能をセットしたタブレット」を窓口を設置してあり、聴覚障害者や外国人たちの対応を行っています。「ユニバーサルデザイン」とは、「すべての人のためのデザイン」という意味です。これまでは、車いす利用者のために、階段に車いす利用者“専用”リフトを設置するなど、特定の人達にとって障害物となるもの・事柄を取り除くことが基本でした。しかし、昨今はUDが基本になっています。ただし、バリアフリーの上位にUDが存在しているように勘違いされることがないように配慮も欠かせません。「車椅子が通れるところは誰も使いやすい場所」なのです。これがユニバーサルデザインなのです。浜松市のように街づくりの基本にこのような条例を持つ自治体も少なくない。担当職員の皆さんの英知が結集された事業であったことが理解できました。芦屋市では全く存在していない。兵庫県すべての人々が、一人の人間として尊重され、等しく社会参加の機会を持つことにより自己実現を果たせる社会の構築こそ、人類の願いであり、我々に課せられた重大な責務である。平成4年10月に「福祉のまちづくり条例」が制定されていますが、これを基本にして一日も早い芦屋市独自の「ユニバーサルデザイン条例」などの制定が望まれます。国際文化住宅都市が先進的な街づくりの基本にUDの考え方を置くことは今や先進国では当然のことなのです。今回の視察でより一層、そのことを確信できました。</p> |

視察の様子（令和元年度）



視 察 先 ①

11月5日
静岡県湖西市



視察先①

11月5日
静岡県
湖西市



視察の様子（令和元年度）



視察先②

11月6日
静岡県
浜松市



視察先②

11月6日
静岡県浜松市

